陸災防神奈川県支部
労災情報(R5.10)

神奈川県内の陸運業の労災

令和５年９月末の速報値

労災死亡事故が６件発生しました。

☆死傷災害は７５名(-１１.９%)減少し５５３名となっています。

神奈川労働局の集計によると、令和５年９月末(1月１日から９月 30 日)における県内の陸運業の労働災害発生は令和４年同期と比較し次のとおりとなっています。

用語の説明は支部ホームページ参照！

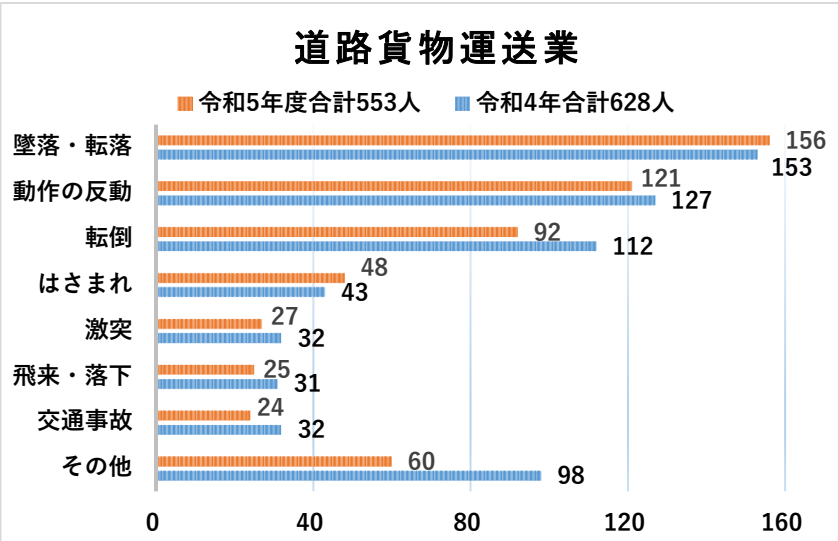
- ✧ 死亡災害は　道路貨物運送業で６件発生しています。（前年同期は０件）
- ✧ 死傷災害は　道路貨物運送業では７５名(―１１．９%)減少しており、陸上貨物取扱業では２２名(―１１．５%)減少となっています。

死傷災害とは、死亡災害と４日以上の休業災害を合計したものです。

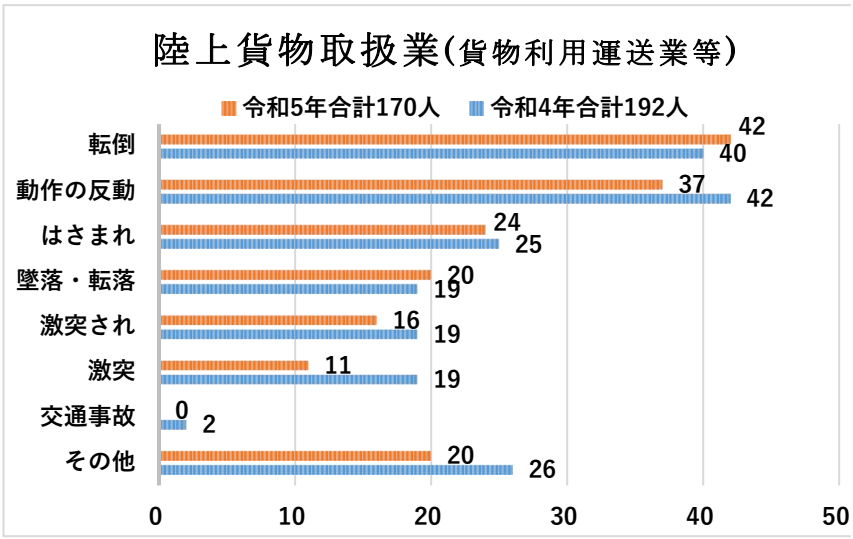
１．概　況（神奈川県内）道路貨物運送業・・・(事故の型ワースト６＋交通事故)

事故の型	墜落・転落	動作の反動（腰痛等）	転倒	はさまれ・巻き込まれ	激　突	飛来・落下	交通事故	その他	合　計
発生件数	１５６	１２１	９２	４８	２７	２５	２４	６０	５５３
対前年増減	＋３	－６	－２０	＋５	－５	－６	－８	－３８	－７５
同上増減率	+2.0%	-4.7%	-17.9%	11.6%	-15.6%	-19.4%	-25.0%	-38.8%	-11.9%

2. 各業種の概要



☆１　昨年同期に比べ-11.9%(-75 名)減少して 553 名となっている。
☆２　墜落・転落が 156 名と相変わらず多く発生している。
☆３　転倒災害が-17.9%(-20 名)と減少している。



※１　昨年同期に比べ-11.5%(-22 名)減少して 170 名となった。
※２　激突が-42.1%(-8 名)と大幅に減少している。
※３　転倒災害が 42 名と多く発生している。

３．死亡災害発生概要（陸上貨物運送事業関係）　　**陸災防神奈川県支部収集**

番号	発生地	月 時刻	事業の種別 労働者数 職種	起因物 事故の型	発生概要
1	厚木市	1月 11時頃	道路貨物運送業 10～29名 運転者	トラック 墜落・転落	50 歳代後半の中型トラック(ウイング車)運転者が、荷積み先の倉庫で片側のウイングとあおりを開放して荷積み準備を終え、荷台を後ろ向きに歩行中、約１メートル下の地面に墜落した。
2	東村山市	5月 9時頃	道路貨物運送業 30～49名 運転者	トラック はさまれ巻き込まれ	タンクローリーが産業ガス納入先に到着後、産業ガス注入区画開錠のため 50 歳代前半の運転者が下車中に、無人の同車が傾斜のある駐車場内で後進を始めた。運転者が駆け寄って停止を試みたが、同車と駐車場の壁の間にはさまれた。
3	南足柄市	5月 15時頃	道路貨物運送業 30～49名 運転者	ﾌｫｰｸﾘﾌﾄ 墜落、転落	60 歳代前半のトラック運転者が配送から戻り、荷台の空パレットを運び出す準備として、リーチフォークリフトを運転してプラットホーム上から地上のトラック脇まで移動の際、プラットホームからの下りスロープを後進中に脱輪して 35 センチメートル下の地面に同車ごと落ち、同車の下敷きになった。
4	愛知県	9月 5時頃	道路貨物運送業 30～49名 運転者	トラック 交通事故	50 歳代前半のトラック運転者が、東名高速上り線(神奈川県外)を 4 トントラックを運転して走行中、前方に停車していた大型トラックに追突した。
5	大和市	9月 5時頃	道路貨物運送業 10～29名 運転者	ﾌｫｰｸﾘﾌﾄ 激突され	40 歳代後半のトラック運転者が、配送に出発する前に雨天用の養生材を保管場所から持ち出して走行中、別のトラックに荷積み中のフォークリフトの経路を横切った際に、後進中の同車に激突された。
6	江東区	9月 2時頃	道路貨物運送業 10～29名 運転者	トラック 交通事故(道路)	トレーラーを運転していた 50 歳代前半の被災者が、高速道路上で単独事故を起こした後、運転席から車外に出た時、別のトラックにひかれて死亡したもの。